

市民社会スペース NGO アクションネットワーク(NANCiS)

2023年度活動報告

(2024年5月21日世話人会議決)

(期間:2023年4月1日～2024年3月31日)

活動項目	活動内容	担当	協働者・団体
(1) 市民社会スペースへの理解促進と拡充のための活動	(1-a) 市民社会スペースに関する日常的な情報提供の実施 メーリングリスト、ウェブサイト、SNS 等により日常的に実施した。	全員	構成団体 賛同団体
	(1-b) 市民社会スペースの現状と課題の周知・理解を広げるためのシンポジウムの実施 2024年3月9日に「権利ベースで私たちの活動を見直す～セーフターでリスペクトフルな市民活動を目指して～」を外部講師(栗本知子氏(PARC)、近藤牧子氏(DEAR))を迎えて実施した。	全員	両弁護士 等
	(1-c) G7広島サミットに関わる市民社会スペースに関するアドボカシーの実施 1) C7「しなやかで開かれた社会」ワーキンググループおよび「C7サミット2023」(同4月13日(木)～14日(金)東京にて開催)への参加と同「しなやかで開かれた社会」ワーキンググループ分科会への登壇、2)「みんなの市民サミット2023」(同4月16日(日)～17日(月)広島にて開催)への参加と同分科会『『ラリー』と『ロビイング』のあいだで ～市民社会とG7の関わりを問い直す～』の共催、3) G7広島サミット当日のメディアワークへの参加(同5月18日(木)～22日(月)広島にて実施)、4) G7期間を通じた市民社会スペース状況のモニタリング、5) 上記活動に関して「G7 市民社会コアリション2023」報告書への寄稿、を行なった。	加藤 堀内 小池	G7 市民社会 コアリション20 23 広島市民サミ ト実行委 あどぼの学校
(2) 市民社会スペースに関する法制度や政策、社会状況や課題に対する監視、提言、抗議活動	(2-a) 国内外の市民社会スペースの状況に関するモニター及び声明等の発出 常時、国内外の市民社会スペースの情勢について情報共有、意見交換、分析等を行なった(土地規制法、経済安保法、「台湾有事」をめぐる言説や動向、アイヌ等先住・少数民族へのヘイト問題、香港情勢、G7/C7 をめぐる市民社会スペースの状況、など)。また、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区侵攻に伴い、「年内に停戦を。」ガザ地区「停戦」を願う NGO、人道支援団体、アカデミア、医療従事者、宗教者等による共同記者会見(12月25日)への賛同を行なった。	加藤 全員	構成団体 賛同団体 各分野の NGO/NPO VUCA! 等
	(2-b) 国連自由権規約委員会対日審査への継続対応 表現の自由と開かれた情報のための NGO 連合(NCFOJ)の定例会を通じて情報収集・意見交換等を行なった。	小泉 加藤	NCFOJ

(3) NGO の対応力強化のための情報収集、情報共有、学習活動	(3-a) 秘密保護法対策弁護士・共謀罪対策弁護士との共同による「弾圧研究会」の実施 例年に引き続き、両弁護士や構成団体・賛同団体等の NGO の参加のもとに同研究会を8月9日に実施し、市民社会スペースに関わる「弾圧」や「圧迫」につながる事案や法制度の動向について情報共有・意見交換を行なった。	加藤 小俣	両弁護士 構成団体 賛同団体
(4) NGO が被害を被った際の対応活動	(4-a) 「緊急時初動対応リスト」を踏まえた、緊急時の対応体制の整備 上記「弾圧研究会」を通じて両弁護士と対応体制の確認を行った。	谷山	両弁護士 構成団体
(5) 他分野の市民社会組織との連携活動	(5-a) 各活動内容での他分野の市民社会組織との連携強化 (1-c) (2-a) (2-b) (3-a) などを通じて進めた。	各活動 担当者	各活動の 協働者・団体
	(5-b) CIVICUS および VUKA!、CoD 等を通じた、世界規模での市民社会スペース擁護に向けた国際連携 (1-c) (2-a) や、構成団体の国際協力 NGO センター (JANIC) を通じて進めた。	堀内 JANIC	CIVICUS VUKA! CoD
(6) 組織・運営基盤の強化	(6-a) NANCiS 全体の活動の持続化・円滑化のための資金及び各種リソース確保に向けた検討 Syncable のサービスを利用してオンラインの寄付窓口を開設し、少額であるが寄付収入を得た。	加藤 全員	

以上